

グローバル模倣品対策研修について（ご案内）

日本弁理士会研修所主催の「模倣品に関する研修」が下記の通り開催される予定です。
弁理士のみならず、産業界の方におかれましても無料で参加可能ですので、ご関心のあ
る方は、下記のサイトから直接お申し込みください。

記

I. 概要

1. 主 催：日本弁理士会研修所
2. 協 賛：公益財団法人日本関税協会 知的財産情報センター(CIPIC)
3. テーマ：「グローバル模倣品対策研修」“拡大する模倣品被害とその対策”
副題「弁理士をはじめ模倣品対策に必要とされるグローバル人材とは！」
4. 日時・場所：
<東京>
【日時】平成 25 年 8 月 6 日（火）13:30～17:15（休憩あり）
【場所】ニッショーホール
<大阪>
【日時】平成 25 年 8 月 7 日（水）13:30～17:15（休憩あり）
【場所】AP 梅田大阪ホール

II. 参加の申込・キャンセルについて

- 【受付期間】各開催日の 2 営業日前 12:00
※定員に達した場合、早期に受付を締め切ります。
- 【申込方法】以下の URL にアクセスのうえ、お申し込みください。
<東 京><http://www.benrishi-navi.com/f/?id=7132&type=tokyo>
<大 阪><http://www.benrishi-navi.com/f/?id=7134&type=osaka>
- 【注 意】弁理士登録されている方は、弁理士枠よりお申込みいただかないと単位認
定ができません。
- 【受講可否】ご入力いただいたメールアドレス宛に自動返信で入場券が届きます。
- 【受講キャンセル】入場券に記載のキャンセル用 URL にアクセスの上、必ずキャンセル
をしてください。

III. 問題意識概要

日本国内への模倣品の流入阻止は税関での水際取締によるところが大きい一方、近年の模倣品流通のグローバル化に伴い、模倣品は日本だけでなく、欧米、中東、アフリカや南米等の巨大市場へと流出しているといった現状がある。

そこで、世界を股にかけて活躍する模倣品対策のパイオニアである講師陣を迎え、これまでの水際取締だけではなく、世界規模の物流の中継拠点において模倣品を抑える等の新たな模倣品対策の現状、これからの日本企業がとるべき対策、それを支える人材等についてパネルディスカッション形式で議論する。

IV. 研修内容及び講師

第1部：基調講演（5名の先生方による講演）

- ・別所 弘和氏（本田技研工業株式会社 知的財産部長）

「Hondaにおけるグローバル模倣品戦略と取り組み事例」

内容：ドバイ、南米、アセアン、アフリカなどの国・地域における税関等行政、司法の対応実態。過去未公表の事例も紹介。

- ・松下 達也氏（経済産業省製造産業局模倣品対策室長（政府模倣品・海賊版対策総合窓口））

「日本政府の模倣品対策に関する歴史、現状及び今後の方向性について」

内容：日本が外国との間で生じた模倣品問題解決に向け、講じてきた施策（特にこの10年間の国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）等の産業界との連携活動や外国政府との関係）、及び、現行の主な施策等を紹介する。さらに、現在直面しているいくつかの課題等につき、今後の方向性について言及する。

- ・河野 泰一氏（公益財団法人日本関税協会常務理事・知的財産情報センター（CIPIC）事務局長）

「日本の税関を中心とした各国税関手続きと国際物流の視点」

内容：「模倣品対策における日本の関税法手続きが外国に比して迅速・効率的であることを中心に説明するとともに、各国税関手続きを正確に理解するためには、各国税関手続きの前後における国際物流の仕組みを理解することが重要であること」を説明する。

- ・鷲 健志氏（イグレット知財活用弁理士事務所 代表弁理士）（東京会場のみ）

「模倣態様の高度化への対応 ～意匠権のない商品形態の模倣品、技術模倣品の水際取締り」

内容：模倣品のグローバル化に伴い、模倣態様も巧妙化・高度化し、模倣対策の選択肢も増やす必要がある。意匠権のない商品形態の模倣品、技術模倣品・ライバル製品への対策として、他国に比べても、国内の裁判に比べても、早く安く強力な効果を得られる、日本税関での不正競争防止法・特許権に基づく水際取締りを、事例を挙げて紹介する。

- ・太田 誠治氏（弁理士 北村国際特許事務所 副所長）（大阪会場のみ）

「模倣品対策－代理人としての立場から」

内容：アセアン・中国・日本の事例を紹介しつつ、代理人としての立場から模倣品対策の話をする

- ・村木 清司氏（弁理士（業）松原・村木国際特許事務所 代表弁理士）

※モデレーターとして参加

「拡大する模倣品・海賊版被害とその対策」

内容：国際模倣品・海賊版撲滅会議等で、国際的に議論されている模倣品被害とその対策についての紹介

第2部：パネルディスカッション

先生方全員参加でディスカッション